

燃料油供給船（バンカー船）国内初、内航船省エネ格付け最高評価を取得

株式会社商船三井（社長：池田潤一郎、本社：東京都港区、以下「商船三井」）のグループ会社である商船三井テクノトレード株式会社（社長：八田宏和、本社：東京都中央区、以下当社）が建造契約を締結した燃料油供給船（バンカー船）「船名未定」は、図面承認の段階で国土交通省が認証する「内航船省エネルギー格付け制度」（注1）において、優れた環境性能が評価され、最高評価（国土交通省の定める基準値よりCO₂排出量削減率20%以上達成）の星5つ（☆☆☆☆☆）を取得しました。国内の燃料油供給船（バンカー船）では初めての5つ星取得となります。

本船は、省エネ船体開発に加え、省エネエンジンを搭載し、新開発の省エネバルブ・フィン舵（注2）などの最新の省エネ装置も取り入れ、2022年3月の就航を目指し、本瓦造船株式会社（社長：本瓦 誠、本社：広島県福山市）で建造を進めております。

商船三井グループは、経営計画ローリングプラン2020においても、「環境戦略の推進とエミッションフリーのコア事業化」を目指し、その実現に向けて技術開発を進めることで、環境負荷低減に努めていきます。

（注1）国土交通省が、内航船舶について省エネ・省CO₂設備への投資環境を整備するため、省エネ・省CO₂効果を船舶の企画・設計段階で「見える化」し、船舶の省エネ・省CO₂性能を客観的に評価する制度。本船は令和2年8月28日に取得しましたが、建造が正式決定した段階で発表した。

https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk7_000021.html

（注2）省エネバルブ・フィン舵とは、当社、株式会社商船三井、株式会社三井造船昭島研究所、シリング舵など高揚力舵の専門メーカージャパハムワージ株式会社の共同開発製品で、舵効きを活かし、省エネ性（馬力改善）を高めたものです。本開発品の特徴は、省エネバルブ・フィン舵は負圧が際立ち、推進力増加に寄与、舵下の端板を小型にして抵抗を減らすとともに、プロペラ旋回流を塞ぎ止め、プロペラ流入速度を抑えプロペラ効率を高める働きがあります。<https://www.motech.co.jp/information/877/>



就航予定イメージ

本件に関するお問い合わせ先：03-6367-5361
商船三井テクノトレード株式会社 燃料部（担当：西山）